

平成28年度 地域ケアプラザ事業実績評価

施設名	指定管理者名	評価	評価内容
下倉田地域 ケアプラザ	(福) 開く会	A	<p>(地域活動・交流)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の分析を行った結果、アパート暮らしの高齢者が多いということで、地域の不動産会社や喫茶店に広報誌の配架をお願いするなど、効果的に広報を実施しています。 ・昨年から子育て事業での新しい方向性を模索している中で、担当エリア外にも社会資源等の見学に行くなど、積極的な姿勢が見えます。父親と子どもをターゲットにした事業を新しく始めており、今後の展開を期待しています。 ・認知症講座などの啓発事業講演会等に参加した人が相談するケースが多いとのことで、単に窓口での相談にとどまらず臨機応変に捉えて相談に対応しています。 ・今年度より生活支援コーディネーターが配置され、各部門の連携をしっかりと意識しながら、一体感を持って取り組んでいます。 ・ラジオ体操講座はニーズが高く、地域の申し出により実現し、地域ケアプラザの事業として実施することができました。来年度は生活支援体制整備事業として取り組んでいくとのことで、定着と広がりを期待しています。 ・とつかハートプランでは、地域の意向を汲みながら、地域と区・地域連携チームとの調整を丁寧に実施して進めていただき、ハートプランについて話し合う場を設置できたほか、話し合いへのサポートも行いました。 ・地区社協やデイサービスと連携して新規ボランティアを実施したほか、障がい児余暇支援「あそびのつどい」では新規ボランティアの受け入れを行い、積極的にボランティアの育成を行っています。

		<p>(地域包括支援センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度から地域包括支援センター職員が 1 人増員となり、3 職種体制となりました。担当者不在時でも継続相談の対応ができるように日頃から、職員同士の情報共有を行っています。 ・地域包括支援センター職員は地域の民生委員・児童委員連絡協議会やイベント、サロンに積極的に参加することで、顔の見える関係となり、気軽に相談してもらえるようになっていきます。 ・高齢者虐待については、関係機関と丁寧かつ円滑に連携をとり、必要に応じたカンファレンスや家族支援に対し、積極的に取り組んでいます。 ・地区民生委員・児童委員協議会、ケアマネサロンにおいて「みまもりネット」「みつけてネット」の普及啓発を行い、新規登録につながりました。 <p>(生活支援体制整備事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活支援コーディネーターが積極的に地域に出向き、地域資源リストを作成しました。また、事業の浸透を図り地域からの理解を求めため、顔の見える関係づくりも積極的に行いました。 ・アンケート調査を有効に活用し、地域の課題やニーズの分析を行うとともに、協議体を活用し今後の目標や取組について検討を行ないました。 ・よこはまシニアボランティアポイント登録研修会、ラジオ体操講習会を実施し、生活支援・介護予防につながる取組を実践しています。
--	--	--